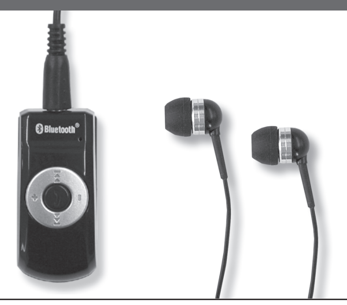
Kashimura

BL-30

保管用
保証書付

Bluetooth3.0
ステレオイヤホンマイク USB

取扱説明書



もくじ

安全上のご注意 1～3
使用上のご注意 4
製品仕様 5
各部名称と付属品 6
はじめてご使用になる場合 7
主なペアリング方法 8～10
使用方法 11～13
故障かな?と思ったら 14
保証書・保証規定 15

＊お買い上げありがとうございました。
＊ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
＊お読みになった後は、大切に保管してください。

安全上のご注意 ❶

必ずお守りください。

＊ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
＊ここに示した注意事項は製品を安全に正しくお使いいただき、使用者や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
＊また注意事項は次のように区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

表示の説明

⚠危険	この表示は「人が死亡または重傷を負う差し迫った危険が想定される内容」を示しています。
⚠警告	この表示は「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
⚠注意	この表示は「人が障害を負う可能性が想定される内容や物質的損害の発生が想定される内容」を示しています。

記号の説明

❗	この記号は必ず実行していただく内容を示しています。
🛇	この記号はおこなってはいけない内容を示しています。

⚠危険

🛇	＊耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと聴力に悪影響を与えることがあります。耳を守るため音量を上げすぎないようにご注意ください。
❗	＊走行中での携帯・自動車電話機の使用は法律で禁止されていますので万が一電話をかける場合は安全な場所に停車してから携帯電話機の操作をおこなってください。
🛇	＊自転車に乗りながらや、自動車・オートバイなどの運転中は交通事故の原因となりますので使用しないでください。
🛇	＊航空機の運行に支障をきたすおそれがありますので、本製品は機内で使用しないでください。

安全上のご注意 ❷

必ずお守りください。

⚠警告

❗	＊本製品を正常にご使用中、異臭・発煙・変形などの異常が起きた場合には、ただちに本製品の使用を中止してください。(火災・事故の原因となります。)
🛇	＊熱器具の近くや直射日光の当たる所で本製品を充電したり、放置しないでください。(火災・事故の原因となります。)
❗	＊本製品を充電する際は必ず付属されているUSBケーブルをご使用ください。(火災・故障の原因となります。)
❗	＊付属品のUSBケーブルは本製品専用となります。本製品以外の充電には使用しないでください。USBケーブルはUSB端子5V以外では使用しないでください。(事故・故障の原因となります。)
❗	＊本製品を充電しながら身に付けて使用しないでください。身につけて使用する際は必ずUSBケーブルから本製品を外してください。(事故やけがの原因になります。)
🛇	＊自動車内で使用した場合、車種により車載電子機器に影響を与える場合があります。安全運転を損なうおそれがありますので、そのような場合は使用しないでください。(事故・故障の原因となります。)
❗	＊充電完了し使用しない場合、USBケーブルから本製品を外しUSBケーブルをUSB端子から抜いてください。(火災・事故の原因となります。)
🛇	＊USBケーブルのコードや端子が痛んだり、USB端子の差し込みがゆるいときは使用しないでください。（感電・ショート・発火の原因となります。）
🛇	＊USBケーブルのコードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重いものをのせたり、はさみ込んだり、加工したり、本体に巻きつけたりしないでください。（感電・ショート・発火の原因となります。）
🛇	＊子供だけで使わせたり、幼児の手の届く所では使用しないでください。（事故やけがをするおそれがあります。）
🛇	＊水につけたり、ぬらしたりしないでください。また湿気の多い所やぬれた手で使用しないでください。（感電・ショート・発火の原因となります。）
🛇	＊絶対に分解・修理・改造をしないでください。（発火や異常動作によるけがの原因となります。）

安全上のご注意 ❸

必ずお守りください。

⚠注意

❗	＊窓を閉めきった自動車の中やダッシュボードの上などの直射日光があたる場所やエアコンの吹出口などの異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。(事故・故障の原因となります。)
❗	＊USB端子からUSBケーブルを抜く時は、必ずUSB端子部を持って抜いてください。(感電やショートして発火することがあります。)
❗	＊落としたり、ぶつけたりして破損した場合は使用しないでください。（感電・発火の原因となります。）
❗	＊充電完了後に長時間USBケーブルをUSB端子に接続したままにしないでください。また充電終了後は必ずUSB端子からUSBケーブルを抜いてください。(事故・故障の原因となります。)
🛇	＊本製品を身に付けた状態で充電しながらご使用にならないでください。詳しくは11ページの<充電しながら待ち受けをする場合>をご確認ください。
🛇	＊調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気があたる場所には置かないでください。(事故・故障の原因となります。)
🛇	＊イヤホンパッドはしっかり取り付けてください。イヤホンパッドがはずれて耳に残るとけがや病気の原因となることがあります。
❗	＊イヤホンが合わないと感じたときは早めに使用を中止し医師または弊社の相談窓口、お買い上げ店にご相談ください。
🛇	＊イヤホンは音量を上げすぎると音が外に漏れます。音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。雑音の多い所では音量を上げてしまいがちですが、イヤホン使用中はいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。
🛇	＊子供の手の届く所には保管しないでください。（事故・ケガの原因となります。）
🛇	＊湿気の多い所には保管しないでください。（絶縁劣化により感電することがあります。）

使用上のご注意

必ずお守りください。

良好な通信のために

＊接続機器とは見通し距離で約10m以内で通信してください。 建物の構造や障害物によっては通信距離が短くなる場合があります。特に鉄筋コンクリートなどを挟むと通信できないことがあります。
＊電気製品（AV機器・OA機器・電子レンジなど）から3m以上離して通信してください。テレビやラジオなどの場合は、受信障害になる場合があります。
＊無線機や放送局の近くなどで正常に通信ができない場合は、通信場所を変更してください。
＊接続機器からの接続要求に応答するために、低電力ではありますが常に電力を消費しますので使用しないときは電源をOFFにすることをお勧めします。

内蔵電池について

＊4時間以上の長時間の充電はしないでください。
＊電池は寿命があり消耗品ですので、保証対象外となります。
＊十分に充電した電池で使用時間が著しく短くなってきたり、ご利用いただけない場合は電池の寿命となります。(電池の交換はできません。)
＊リチウムポリマー電池の特性上、高温での保管はおすすめできません。

使用する電波について

2.4 FH 1
使用電波帯：2.4GHz
変 調 方 式：FF-SS
与干渉距離：10m

＊本製品は2.4GHz帯域の電波を使用しています。
本製品を使用する上で無線局の免許は必要ありませんが以下の場合や製品の近くでは使用しないでください。

※病院内・電車内・航空機内・ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
※電子レンジ・ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器など
※自動ドア・火災報知器など
※工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
※特定小電力無線局(免許を要しない無線局)
※IEEE802.11b/g無線LAN機器

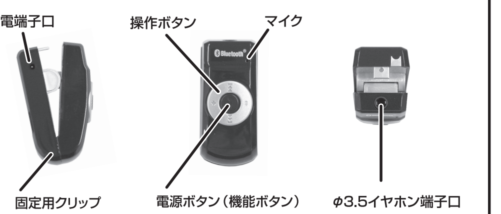
上記の機器などはBluetoothと同じ電波の周波数帯を使用しています。上記の近くで本製品を使用すると電波の干渉を発生するおそれがあります。この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器等のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運営されています。

製品仕様

無線方式	Bluetooth 3.0+EDR
対応プロファイル	HSP モノラル音声入出力 HFP1.5 電話の発着信 A2DP ステレオ音楽出力 AVRCP 1.0 リモコン操作
SCMS-T	ワンセグ視聴可能 ダウンロードした音楽データの再生可能
無線距離	約10m以内 (使用環境により異なります)
電源供給	リチウムポリマー電池
充電時間	約3時間 充電時間は使用環境によって異なります。
連続使用時間	最大約6時間（待ち受け最大約250時間） 使用時間は接続する機種・使用環境によって異なります。
電池残量表示	iPhone電池残量メーター表示機能 対応
外観寸法	21W×45.4H×26.2D(mm)
重量	10g(イヤホン除く)
使用温度	温度0～35℃（結露しないこと）
保管温度	温度0～45℃（結露しないこと）
付 属 品	BL-30専用 USB充電ケーブル カナル式ステレオイヤホン イヤホンパッド 4サイズ (XS/S/M/L)

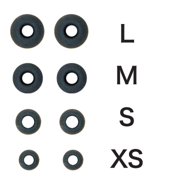
各部名称 と 付属品

各部名称

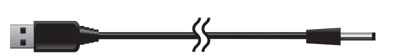


付属品

ステレオイヤホン



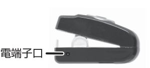
イヤホンパッド 4サイズセット
(ご購入時はイヤホンにMサイズが取付けてあります。)



BL-30専用 USB充電ケーブル

はじめてご使用になる場合

1,【本製品を充電します。】 ＊充電中は身に付けて使用しないでください。

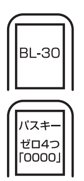


本製品の充電端子口に付属のUSBケーブルを接続します。
電源ボタンが赤色に光り充電が開始します。
充電が完了すると、電源ボタンの赤色ランプが消えます。
(充電時間の目安は電池切れの状態から約3時間)

2,【携帯電話機とのペアリング(接続の初期登録)を行います。】

★8～10ページに主なBluetooth搭載機種のペアリング方法が書いてありますので下記の内容と合わせてご確認ください。

❶本製品の電源がOFFになっていることを確認してください。
❷電源ボタンを約4～6秒間押し続け、電源ランプが赤・青交互の点滅になったら離してください。 赤・青交互の点滅している状態がペアリング(初期登録)可能な状態です。
❸使用する携帯電話機のBluetooth機能設定にてペアリング可能な機器を検索してください。検索方法は携帯電話機により異なります。詳しくは携帯電話機の取扱説明書をご参照ください。
❹検索画面に「BL-30」と表示されますので選択してください。



★携帯電話機の機種によっては、認証のためにパスキーの入力を要求される場合があります。その場合は「0000」とゼロ4つを入力してください。「パスキー」という表記名は携帯電話機の機種により異なります。詳しくは携帯電話機の取扱説明書をご参照ください。
★携帯電話機の機種によっては、接続機器の種類について手動で選択を要求される場合があります。その場合は次の操作に従ってください。

・イヤホンマイクで通話する場合 ⟶「ハンズフリー」を選択
・音楽やワンセグを聴く場合 ⟶ docomo「オーディオ」を選択
⟶ SoftBank「オーディオ」を選択
⟶ au「ワイヤレス機器選択」を選択

❺本製品の電源ランプが青色点滅になったらペアリング設定は終了です。

＊ペアリング設定中に間違えてしまったり、ペアリングを失敗してしまった場合はもう一度始めからやり直してください。
＊本製品にペアリング(接続の初期登録)ができる携帯電話機は 4 台まで可能です。
＊携帯電話機 2 台までなら本製品で同時待受接続できます。同時通話できません。

【電池切れについて】

＊ 電池が無くなると赤色ランプが19秒ごとに点滅しイヤホンから電子音が鳴ります。電池切れになった場合には付属品のUSBケーブルを使用して充電してください。

主なペアリング方法 ❶

1, まず接続する携帯電話機側の取扱説明書でペアリング方法をご確認ください。
2, 携帯電話機の取扱説明書をご確認いただきペアリング方法がわからない場合は下記の「ペアリング方法の参考例」又は「機種別のペアリング方法」をご確認ください。

＊ペアリングする時は予め本書7ページ(2,❶～❷)に記載の方法で本製品のランプを赤・青の交互点滅にした状態で行なってください。
＊携帯電話機の機種・OSのバージョンによってペアリング手順は異なる場合があります。

ペアリング方法の参考例

電話機	Android SC-03Eの場合	iOS iPhone5 の場合	その他
ペアリング設定方法	"設定"または"本体設定" ↓ "無線とネットワーク"の項目にある"Bluetooth"を選択 ↓ Bluetoothのスイッチボタン(○印)を右へスライドしBluetooth機能をONにする ↓ "スキャン"を選択 ↓ 「BL-30」を選択 ↓ 接続完了	メニュー ↓ 設定 ↓ Bluetooth ↓ 「Bluetooth」の右スイッチをONにする ↓ 「BL-30」を選択 ↓ 接続完了	当ページの下に記載のバーコードからご確認いただくか、本書9～10ページでご確認ください。

＊上記はペアリング方法の参考例です。詳しくは携帯電話機の説明書をご確認ください。

携帯電話機の機種別ペアリング方法

バーコードを携帯電話機のバーコードリーダーで読み取り、各機種のペアリング方法をご確認いただけます。バーコードリーダー機能がついていない携帯電話機の接続方法については、携帯電話機の説明書をご確認ください。パソコンからご確認頂く場合は下のURLからご確認頂けます。

http://www.kashimura.com/goods/keitai/bluetooth/bl.html

主なペアリング方法 ❷

＊ AndroidのスマートフォンやiPhoneについては8ページをご確認ください。
＊ ペアリングする時は7ページ(2,❶～❷)記載の方法で本製品のランプを赤・青交互の点滅にした状態で行なってください。

機種	docomo 富士通 F-01E シャープ SH-05D	docomo NEC N-01E	docomo Research In Motion BlackBerry Bold 9900
ペアリング設定方法	【メニュー】または【ノーマルメニュー】 ↓ 便利ツール ↓ Bluetooth ↓ 新規機器登録 ↓ "サーチ中"と表示 ↓ 「BL-30」を選択 ↓ "BL-30を認証しますか"で「はい」を選択 ↓ "通常接続機器(オーディオ)に設定しますか"で「はい」を選択 ↓ 「BL-30」を選択 ↓ 接続を押す ↓ 接続完了	メニュー ↓ 便利ツール ↓ Bluetooth ↓ 新規機器登録 ↓ "機器検索中"と表示 ↓ 「BL-30」を選択 ↓ 「未登録機器です登録しますか?」で「YES」を選択 ↓ パスキー「0000」とゼロを4つ入力 ↓ 「ハンズフリー」を選択、接続キーを押す ↓ "別のサービスにも接続しますか?"で「YES」を選択 ↓ 「オーディオ」を選択 ↓ 接続完了	メニュー画面 ↓ オプション ↓ ネットワークおよび接続 ↓ Bluetooth接続 ↓ Bluetoothの「オフ」をタップして「オン」にする ↓ "新しいデバイスを追加"を選択 ↓ "検索"を選択 ↓ 「BL-30」を選択 ↓ "ペアリングが完了しました。BL-30に接続しますか?"で「はい」を選択 ↓ 接続完了

主なペアリング方法 ❸

＊ AndroidのスマートフォンやiPhoneについては8ページをご確認ください。
＊ ペアリングする時は7ページ(2,❶～❷)記載の方法で本製品のランプを赤・青交互の点滅にした状態で行なってください。

機種	au ソニー URBANO AFFARE 富士通 F001 京セラ K011	SoftBank シャープ かんたん携帯108SH
ペアリング設定方法	メニュー ↓ ツール ↓ Bluetooth ↓ 新規登録 ↓ "機器探索中"と表示 ↓ 「BL-30」を選択 ↓ 接続完了	「便利な機能」を選択 ↓ 「データのやりとりをする」を選択 ↓ 「Bluetoothを利用する」を選択 ↓ 「接続するデバイスを登録する」を選択 ↓ 「BL-30」と表示された番号を登録 ↓ 「デバイスリストに加えますか?」で「はい」を選択、OKボタンを押す ↓ 接続完了

機種	au 富士通 Windows(R)Phone IS12T	SoftBank シャープ 202SH
ペアリング設定方法	メニュー ↓ 設定 ↓ Bluetooth ↓ Bluetoothをオンに設定(常時検索、検出可能) ↓ 「BL-30」を選択 ↓ 接続完了	メニュー ↓ ツール ↓ 外部接続 ↓ Bluetooth ↓ デバイス登録 ↓ "検索中…"と表示 ↓ 「BL-30」を選択 ↓ デバイスリストに加えますか?「はい」を選択 ↓ 接続完了

使用方法 ❶

携帯電話機の操作方法などは各キャリア様にお尋ねください。

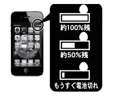
【電源をONにする】

電源ボタンを青ランプが点滅するまで約3～4秒長押しします。イヤホンから電子音が鳴り、電源がONになります。ペアリング済みの携帯電話機をBluetoothをONの状態で近くに置き本製品の電源をONにした場合、数秒後に自動的に接続されます。自動で接続されない場合は電話機で接続操作をしてください。本製品との接続状況の確認方法は携帯電話機の取扱い説明書を参照してください。

【電源をOFFにする】

電源ボタンを赤ランプが点滅するまで約5～6秒長押しすると電子音が鳴り電源がOFFになります。電源ボタンを長押しして約1秒後にイヤホンから電子音が鳴りますがそのまま電源ボタンを押し続けてください。約5～6秒後に電源OFFを示す電子音が鳴ります。電源OFFの状態はランプが消えたままになります。

【iPhoneで本製品のバッテリー残量を表示する】



本製品とiPhoneをペアリングし接続状態にするとiPhoneの画面に本製品のバッテリー残量が表示されます。 あくまで目安ですので、電池残量が少なくなってきたら本製品を早めに充電してください。
＊iPhone以外の電話機には表示されません。
＊各モデルやOSバージョンによって、表示されない場合もあります。

【充電する】

本製品の電源をOFFにしてから、付属の専用ケーブルを本製品の充電端子口へ接続し、パソコンのUSB端子口へ接続して充電を開始します。電源をONの状態でUSB端子へ接続すると、本製品の電源がOFFになり携帯電話機との接続が切れます。 ＊充電中は本製品を身に付けないでください。

<充電しながら待ち受けをする場合>

充電中に本製品の電源ボタンを3～4秒長押しして電源をONにしてください。
(赤ランプが常時ついた状態で青ランプが点滅します。)
＊充電中は本製品を身に付けないでください。
＊4時間以上の連続充電はしないでください。
＊本製品の電源がONの状態で充電開始すると、本製品の電源がOFFになります。充電開始後に電源を入れ直してください。

【携帯電話機2台と同時接続する】

◆接続方法
1、1台目のペアリングが完了したら本製品の電源をOFFにします。
2、本製品の電源をONにし、7～10ページの手順で2台目の携帯電話機と本製品と接続します。
3、1台目の携帯電話機のBluetooth項目から本製品との接続作業を行ないます。

◆ハンズフリー通話中、もう1台の携帯電話機に着信が入ったら
★通話中の電話を切って、着信に出る方法
電源ボタンを短く押し通話を終了させ、もう1度短く押し着信に出る。
★通話中の電話を切らずに、着信に出る方法
着信中に電源ボタンを電子音が鳴るまで長押しすることで、通話中の電話を切らずにもう1台の着信に出ることができます。元の電話機側の通話に戻る場合は、電源ボタンをもう1度電子音が鳴るまで長押ししてください。
＊元々の通話はミュート(無音状態)になります。
＊携帯電話機の機種により動作が異なる場合があります。

使用方法 ❷ 音楽・ワンセグを聴く

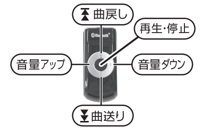
【音楽を聴く】

携帯電話機の音楽をステレオ音声で聴くことができます。また、本製品のボタン操作で音楽の再生と停止・曲送りと曲戻し・音量調整ができます。
音楽プレーヤーの起動は携帯電話機で直接操作してください。

＊ Bluetoothの音声出力(A2DP)に対応していない音楽プレーヤーではご使用になれません。
＊ 携帯電話機と音楽プレーヤーがBluetooth機器によるリモコン操作(AVRCP)に対応していない場合、本製品のボタン操作で再生／停止／曲送り／曲戻しはできません。(例：iPhoneのOSが初期～4.0.2は非対応です)
＊ auの携帯電話機で音楽を聴く場合はリスモプレーヤーのみの対応となります。

<再生・停止>

【電源ボタン】を短く1回押すことにより音楽を再生 ・ 停止できます。 携帯電話機の機種によっては待受時に本製品の電源ボタンを1回押すと音楽プレーヤーが起動する機種があります。

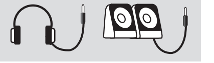


<音量調整>

操作ボタンの【+】と【ー】で音量を調整することができます。
押す回数で音量調整していきます。
＊音量が最大または最小になると電子音が鳴ります。
＊携帯電話機の音量調整とは連動していません。

<曲送り・曲戻し>

・操作ボタンの【⏫】で曲戻し
・操作ボタンの【⏬】で曲送り

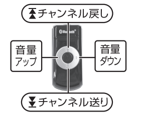


市販のφ3.5ステレオミニプラグの製品(イヤホン／ヘッドホン／スピーカーなど)を本製品のイヤホン端子に接続することもできますが、本製品付属のイヤホン以外でのご利用についての動作保証はいたしておりません。

【ワンセグを聴く】

携帯電話機のワンセグをステレオ音声で聴くことができます。また、本製品のボタン操作でチャンネル切替操作・音量調整ができます。
ワンセグの起動は携帯電話機で直接操作してください。

＊ 携帯電話機とワンセグアプリがBluetooth機器によるリモコン操作(AVRCP)に対応していない場合、本製品のボタン操作でチャンネル変更はできません。（例：iPhoneのOSが初期～4.0.2は非対応です）
＊ auの携帯電話機でワンセグ視聴中に電源ボタンを1回押すと数秒後に音声がOFFになる機種があります。もう一度電源ボタンを押すと音声が出るようになります。



<音量調整>

操作ボタンの【+】と【ー】で音量を調整できます。押す回数で音量調整していきます。＊音量が最大または最小になると電子音が鳴ります。
＊携帯電話機の音量調整とは連動していません。

<チャンネル切替>

・操作ボタンの【⏫】でチャンネル戻し
・操作ボタンの【⏬】でチャンネル送り
＊電話機やワンセグアプリによって動作が異なる場合があります。

使用方法 ❸ ハンズフリー通話

【ハンズフリー通話を行なう】

ハンズフリー通話を行なえます。本製品のボタン操作で下記の様に様々な操作ができます。

＊これらの機能は携帯電話機に購入時から入っている標準の電話機能にのみ対応します。
＊通話アプリ(Line・Skype・Viber等)には対応しておりません。
＊両耳をイヤホンで塞いだ状態で自動車 ・ 自転車を絶対に運転しないでください。

<発信する>

本製品からリダイヤル操作以外の発信はできません。携帯電話機から発信操作を行なってください。携帯電話機から発信し相手が電話に出るとイヤホンから電子音が鳴りますので、なった後に電源ボタンを1回押し本製品に通話を切り替えてください。
＊携帯電話機の機種によっては発信後に自動で本製品へ切り替わる機種もあります。
＊上記の操作で切り替わらない機種の場合、携帯電話機で切り替えてください。

<リダイヤル発信>

電源ボタンを2回連続で押すと最後にかけた電話番号へリダイヤルできます。
＊リダイヤル機能が働かない場合、時間をおいてから上記操作を行なってください。
＊携帯電話機やアプリによってはリダイヤルできない場合があります。
＊携帯電話機2台を同時接続している場合、最後に発信した電話機側から発信されます。

<着信をうける>

着信があるとイヤホンから電子音がなります。電源ボタンを短く1回押して電話に出ることができます。
＊1秒近く長押しすると違う操作になりますのでご注意ください。
＊本製品に携帯電話機2台を同時接続した状態で、通話中にもう1台の携帯電話機に着信が入った場合については11ページの【携帯電話機2台と同時接続して使う】をご確認ください。

<電話を切る>

電源ボタンを短く1回押すと通話が終了します。(イヤホンからは電子音が鳴ります。)

<着信を拒否する>

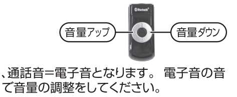
イヤホンから着信音がしたら電源ボタンを電子音が鳴るまで長押しすると着信を拒否することができます。電話機やアプリにより動作が異なる場合があります。

電子音が
鳴るまで
長押し

<電話機での通話に切り替える>

本製品でハンズフリー通話中に、電子音がなるまで電源ボタンを長押しすると電子音が鳴り、携帯電話機での通話に切り替わります。もう1度長押しすると携帯電話機での通話から本製品でのハンズフリー通話に切り替わります。
＊本製品に携帯電話機2台を同時接続した状態では電話機での通話に切り替わらない場合があります。詳しくは11ページの【携帯電話機2台と同時接続する】をご確認ください。

<通話音量の調整>



操作ボタンの【+】と【ー】で通話音量の調整ができます。

<動作時に鳴る電子音の調整>

動作時の電子音の音量は通話時の音量と連動しており、通話音=電子音となります。 電子音の音量を調整したい場合は通話時に操作ボタンの【+】と【ー】で音量の調整をしてください。

故障かな?と思ったら

症 状	考えられる原因	処 置
電源がONにならない。	電源ONの動作を行なってLEDが点灯しない場合、バッテリーの残量が不足している。	付属のUSBケーブルで充電してください。
	青いLEDが点滅している。	青いLEDが点滅している状態は電源がONの状態です。
ペアリングができない。	ペアリングモードになっていない。	電源OFFの状態から電源ボタンを4～6秒長押ししてペアリングモードにしてください。
ペアリングができず、長時間、赤と青のLEDが交互に点滅している。	正常にペアリングを行なう状態になっていない。	一度設定を中止し電源をOFFにしてから改めてペアリングをしてください。
音量が小さい	音量レベルが最小になっている。	ボリュームを上げてください。
通話ができない。	ペアリングが完了されていない。	ペアリングをしてください。
	携帯電話機の設定がイヤホン設定になっていない。	携帯電話機の設定を変更してください。
	着信時の操作が早い。	イヤホンから着信音がしてから電源ボタンを押してください。
	携帯電話機で操作し発信してからイヤホンの切替えをしていない。	携帯電話機で発信後、イヤホンの切替えをしてください。
	携帯電話機から10m以上離れ、ペアリングが解除になっている。	携帯電話機から10m以内の範囲に入り携帯電話機で本製品との接続操作をしてください。
携帯電話機から着信音が鳴らない。	携帯電話機に接続すると携帯電話機から着信音が出ない設定になる機種。	携帯電話機の取扱い説明書を参考に設定を変更してください。
音楽やワンセグの音が聴けない。	オーディオやワイヤレス機器として接続されていない。	オーディオやワイヤレス機器として接続してください。
途中で通話が切れる。	鉄筋の入った壁、電子レンジなどの電気製品、放送局や無線局などが近くにある。	場所を移動して使用してください。
ノイズ音や音切れがする。	無線LAN、街中の電波干渉をうけている。	無線LANやWi-Fi接続しているパソコンなどの機器から離れてください。
	体がBluetoothの電波を遮っている。	お体から携帯電話機を離してください。
携帯電話機との接続が不安定になっている。	携帯電話機のWi-FiとBluetoothの電波が干渉している。	携帯電話機のWi-Fi設定をOFFにしてください。
待受時に電子音が鳴る。	バッテリーの残量が不足している。	付属の充電用USBケーブルで充電してください。

以上の処置をしても具合が悪い場合は事故防止の為、使用を中止しお買い上げの販売店、または当社までご相談ください。

保 証 書

保証期間 お買い上げ日より6ヵ月

BL-30 Bluetooth3.0 ステレオイヤホンマイクUSB		
お買い上げ日	年 月 日	
お客様	ご住所 〒 -	
	お名前	お電話

レシート貼付け欄
必ず、お買い上げ店舗のレシートをご添付願います。
レシートの提示がない場合は無償修理対象外となります。

【保 証 規 定】必ずお読みください。

●保証期間内に正常な使用状態（ 取扱説明書、本体貼付けラベル等の注意書きに従った使用状態 ）で万一故障した場合には弊社適合表に記載してある機種に限り、当社指定の方法で無償修理をさせて頂きます。当社の判断により製品交換をさせて頂くことがありますので予めご了承ください。
●保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合には、保証書とレシートを商品に添えてお買上げ頂いた販売店までお持ちください。
●保証期間内であっても、次のような場合は有償修理となります。
1、保証書とレシート (必ず購入日が確認できるもの) をご掲示頂けない場合
2、所定の項目をご記入頂けない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
3、使用上の誤り、他の機種から受けた障害または不当な修理や改造による故障および損傷
4、お買上げ後の取付け場所の移設、輸送、落下による故障および損傷
5、火災、地震、風水害、落雷、その他天変地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障および損傷
6、一般家庭用以外 (例えば業務用) での使用による故障および損傷
7、消耗または摩耗した部品の交換
●お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
●本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の障害ついては当社はその責任を負わないものとします。
●この保証書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan)
●この保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。

●ネットショップカシムラ (楽天市場内) ＊本製品の付属品も販売しています。
http://www.rakuten.ne.jp/gold/netkashi/
●商品に関するお問い合わせ先
TEL：03-5613-1332 10～12 時／ 13～17 時
休日 ・ 祝祭日を除く 月～金曜日

株式会社カシムラ
JAAMA 全国自動車用品工業会会員
〒120-0005 東京都足立区綾瀬6-9-28
http://www.kashimura.com